

2021年9月28日

京都市長
門川大作 様

京都府保険医協会
理事長 鈴木 卓

新型コロナワクチン供給の見通しについて

【要請理由】

貴職並びに貴自治体職員の皆様におかれましては、平素より住民の生命と健康を守り、また今般の新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、日夜ご尽力いただいておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナワクチンについて、ご承知の通り6月末に何の前触れもなく国から供給量が減少するとの通達があり、7月中旬から8月上旬にかけて、自治体、医療機関ともに混乱が広がりました。京都市域においては、7月末には、京都市から8月以降の個別接種医療機関への供給量が、制限付きではあるものの明示され、供給されるワクチンの範囲で接種が再開されるに至っています。

しかしながら、現時点では国から第15クール（9月27日、10月4日のワクチン供給）までしか示されておらず、それをもとに京都市からは10月18日の週末までのワクチン供給量が示されたのみです。京都市担当課に今後の供給の見通しについて質問したところ、第16クール以降はワクチン供給のスケジュールはもちろん、供給があるのかすら判明していないとの回答でした。

一方で、当会の会員医療機関では、ワクチン接種予約が途切れることなく続いており、接種枠の関係から1回目接種が11月となる方も発生する状況です。当会には、10月18日の週末までしか供給スケジュールが示されていない中、予約を受けてよいものかどうか判断がつかないとする会員医療機関からの相談もありました。

以上のことから、下記項目について要請させていただきます。

【要請項目】

1. 国に対し、第16クール以降のワクチン供給見通しを早急に示すよう求めている

そもそも国は新型コロナワクチンをいつまで供給するのか等ロードマップを示しておらず、説明を一切していない。その上、供給の見通しも供給日の約1カ月前に判明するという状況で、自治体も医療機関も小出しにされる供給スケジュールに振り回されるばかりである。ついては、国に対し全体像の供給スケジュールとともに、第16クール以降の供給量を早急に明示するよう求めている。

2. 京都市内の個別接種協力医療機関に対し、10月18日の週末以降の接種予約の方針を早急に示していただきたい

9月7日に開催された京都府医師会主催の京都市内地区感染症対策担当理事連絡協議において、10月18日の週末までのワクチン供給量の説明はあったものの、その週末以降の予約管理等については説明がなかったと把握している。自治体においても詳細の把握は困難であると理解するが、実務を担う個別接種協力医療機関には、現時点での10月後半の予約管理の対応方針について、丁寧な説明を行っていただくよう求めたい。

以上